

# GMOリサーチ&AI 説明資料

STOCK CODE : 3695

**GMO** RESEARCH & AI

代表取締役社長 細川 慎一

2024年11月12日

# 社長紹介



代表取締役社長

**細川 慎一**

(Shinichi Hosokawa)

## 経歴

- 1973年** 香川県生まれ
- 1996年** 大学卒業後、在エチオピア日本国大使館勤務
- 1998年** 株式会社ケンウッド入社  
(シリコンバレーの事業所立上メンバーとして赴任)
- 2001年** アメリカ サンダーバード米国経営大学院 (MBA) 卒業
- 2001年** KPMGコンサルティング株式会社入社
- 2005年** GMOメディアソリューションズ株式会社入社  
新規事業開発室長としてリサーチ事業立上  
同年リサーチ事業スピンアウト
- 2006年** GMOリサーチ(現GMOリサーチ&AI)株式会社代表取締役社長就任
- 2013年** 中国、インド法人設立 役員就任
- 2014年** シンガポール法人設立、役員就任、東証マザーズ上場
- 2017年** マレーシア法人設立、役員就任
- 2019年** シンガポール移住
- 2022年** 米国法人設立、役員就任

世界で戦ってダントツNo.1になれるグローバル企業となることを目指しております

# GMOリサーチ&AIとは

業界最大級のパネルネットワークと技術力を背景に、日本・アジアを中心にグローバルに市場調査・マーケティングで新しい価値を提供する会社

- 設立日 2002年4月1日
- パートナー数\*1 190人
- 世界8拠点\*2で事業展開
- 海外売上比率27%\*3

\*1 2024年7月1日時点 正社員数(連結)

\*2

□GMOリサーチ&AI株式会社

- 【本社】東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
- 【下関サテライトオフィス】山口県下関市細江町1丁目2-7 住友生命下関ビル
- 【台湾駐在員事務所】台北市南京東路1段86号5F

□連結子会社

- GMO-Z.COM RESEARCH PTE. LTD. (シンガポール)
- GMO Z COM RESEARCH SDN. BHD. (マレーシア)
- 技嘉驿动市场调查(上海)有限公司(中国)(GMO E-Lab Marketing Research (Shanghai) Co, Ltd.)
- GMO-Z.COM RESEARCH PVT. LTD. (インド)
- GMO-Z.COM RESEARCH USA, INC. (米国)

\*3 2023年12月期



# 2024年12月期 第3四半期決算説明資料

STOCK CODE : 3695

**GMO** RESEARCH & AI

代表取締役社長 細川 慎一  
常務取締役グローバルCFO 森 勇憲

2024年11月6日

# 目次

1. 結論と要約

2. 事業概況

Appendix

# 1. 結論と要約

---

# 結論と要約 | 決算サマリー (1Q~3Q累計)

- ✓ **売上高**：前年比▲3.8%だが、特殊要因（対前年比約2.7億円）の影響を除くと+3.6%。
- ✓ **売上総利益**：粗利率は前年比+0.3ポイント（48.9%）。
- ✓ **販管費**：営業体制変更、AI活用、CASHMART事業譲受、海外為替影響等による増加。

(単位：百万円)	2023 (1-9月)	2024 (1-9月)	増減額	増減率
売上高	3,801	<b>3,657</b>	▲144	▲3.8%
売上総利益	1,848	<b>1,787</b>	▲60	▲3.3%
販売管理費	1,545	<b>1,714</b>	+168	+10.9%
営業利益	303	<b>73</b>	▲229	▲75.7%
経常利益	311	<b>67</b>	▲244	▲78.3%
最終利益	217	<b>58</b>	▲158	▲73.1%

# 結論と要約 | 市場変化に伴う当社事業構造変革の進捗状況

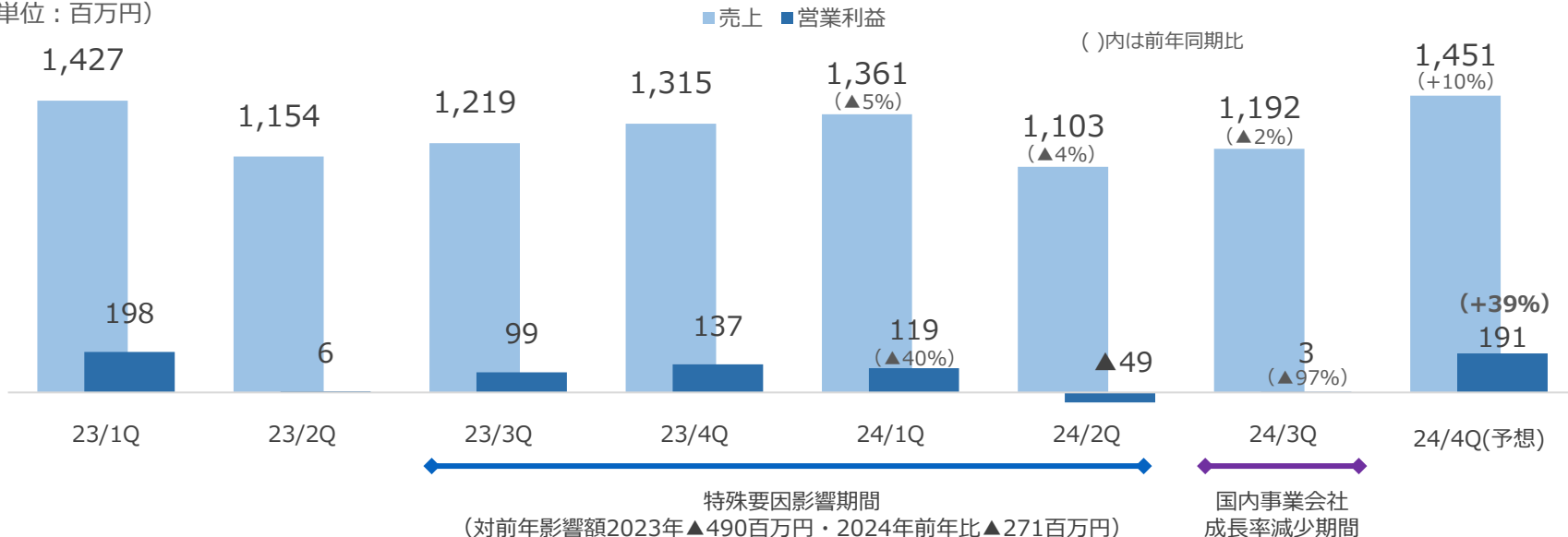
24年前年同期比 成長率推移	1Q	2Q	3Q	4Q (予想)
<b>国内売上</b>	<b>▲3%</b>	<b>▲7%</b>	<b>+3%</b>	<b>+15%</b>
国内事業会社*	+57%	+10%	▲1% <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3Qは一時的要因による減少</li> <li>・ 9月以降は1Q並みの成長率に回復</li> <li>・ 4Qおよび2025年も同様の傾向を予想</li> </ul>	
国内調査会社	▲11%	▲11%	+3% <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上半期は、特殊要因の影響により悪化</li> <li>・ 3Qは特殊要因影響下げ止まり</li> <li>・ 4Qおよび翌年も同様の傾向を予想</li> </ul>	
<b>海外売上</b>	<b>▲8%</b>	<b>+2%</b>	<b>▲13%</b>	<b>▲5%</b>
海外調査会社*	+32%	+20%	▲18% <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上半期は欧米にて順調に進捗</li> <li>・ 3Qに特定案件絞り込み、期ズレ（27百万円）影響</li> <li>・ 4Qおよび翌年は徐々に改善を予想</li> </ul>	
グローバル パネル会社	▲55%	▲27%	▲0% <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上半期は、特殊要因の影響により悪化</li> <li>・ 3Qは特殊要因影響下げ止まり</li> <li>・ 4Qおよび翌年は保守的に予想</li> </ul>	

\*注カセグメント

# 結論と要約 | 四半期ごとの売上高・営業利益推移

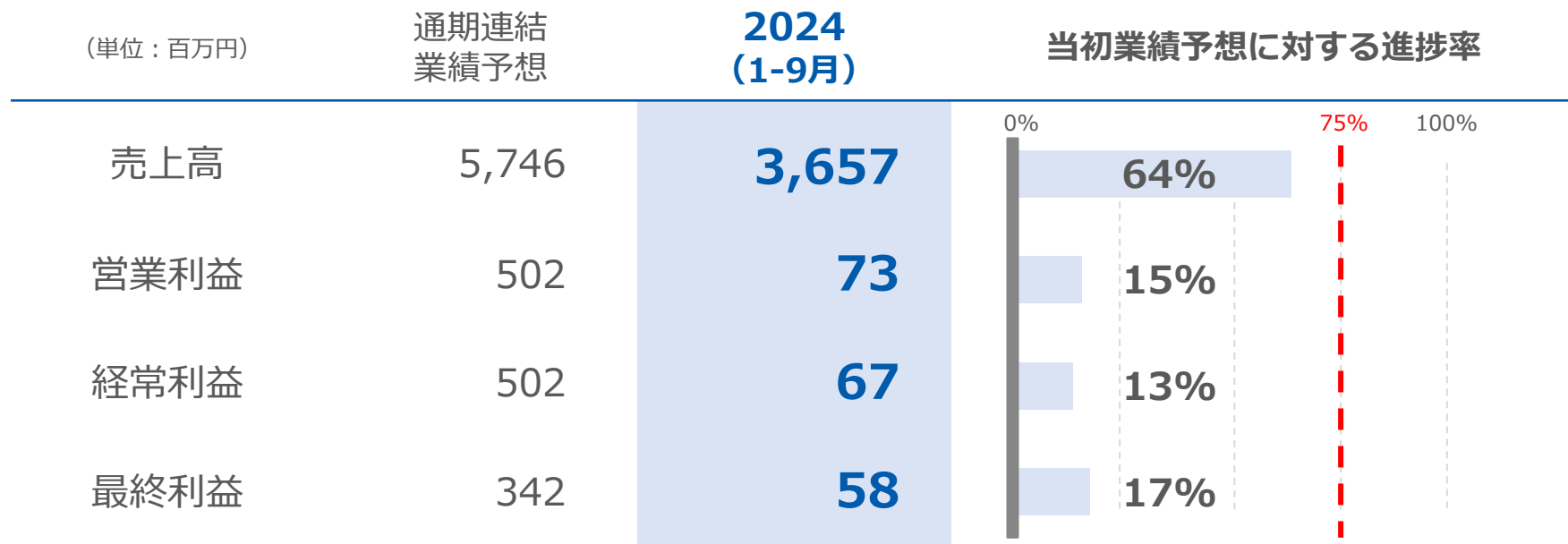
- ✓ 2024年4Qは、国内の事業会社向け売上成長率回復と調査会社向けの下げ止まりの牽引により、前年比+39%の営業利益増を予想。
- ✓ 2025年は、2024年4Qの国内事業の売上成長率の傾向継続と海外事業回復により、2023年を超える収益性まで回復を予想。

(単位：百万円)



# 結論と要約 | 連結業績予想に対する進捗

- ✓ 3Q累計の最終利益は、当初の連結業績予想に対し17%の進捗。



# 結論と要約 | 連結業績予想の修正

- ✓ 当初業績予想に対する進捗を踏まえ、業績予想を修正。
- ✓ 安定配当の観点から、一株当たり年間配当額の修正はせず期初計画を据え置き。事業構造変革の成果として、2024年4Q及び2025年以降の収益力が改善し、2023年度を超える業績水準となることが想定されるため、2025年度以降は安定配当を継続しながらも配当性向50%程度へ収束していく見通し。

(単位：百万円)	2023年度実績	2024年度 当初業績予想	2024年度 修正業績予想	対前期実績 増減	対前期実績 増減率	対当初予想 変動額	対当初予想 変動率
売上高	5,117	5,746	<b>5,107</b>	▲10	▲0.2%	▲639	▲11.1%
営業利益	440	502	<b>264</b>	▲176	▲40.1%	▲238	▲47.4%
経常利益	428	502	<b>255</b>	▲173	▲40.5%	▲247	▲49.2%
最終利益	307	342	<b>190</b>	▲117	▲38.2%	▲152	▲44.4%
1株当たり 当期純利益(円)	188.23	209.32	<b>116.30</b>	▲71.93	▲38.2%	▲93.02	▲44.4%
配当性向(%)	61.0%	54.9%	<b>98.8%</b>	—	—	—	—
1株当たり 年間配当額(円)	114.84	114.84	<b>114.84</b>	0	+0.0%	<b>変更なし</b>	<b>変更なし</b>

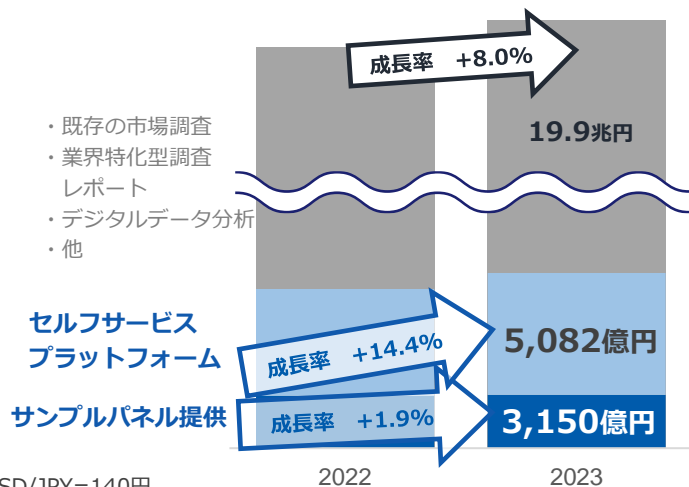
## 2. 事業概況

---

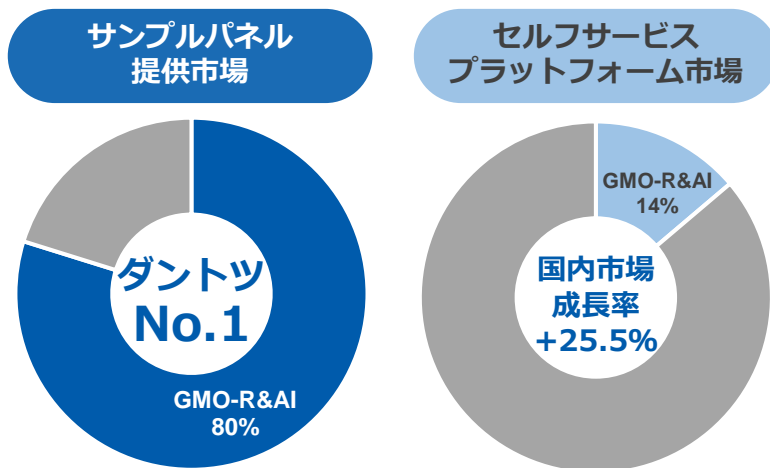
# 事業概況 | データ・インサイト市場トレンド

- ✓ 国内サンプルパネル提供市場にてシェア80% | 1位を獲得。
- ✓ 昨年の戦略変更により、世界インサイト市場成長率を上回る成長率を持つセルフサービスプラットフォーム市場に注力。

## 世界データ分析・インサイト（従来のリサーチ）市場



## 国内市場

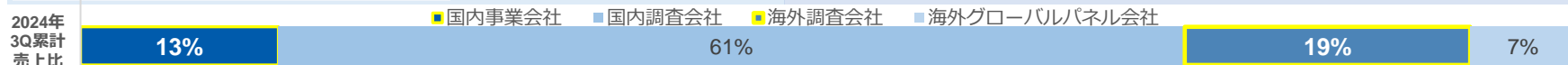
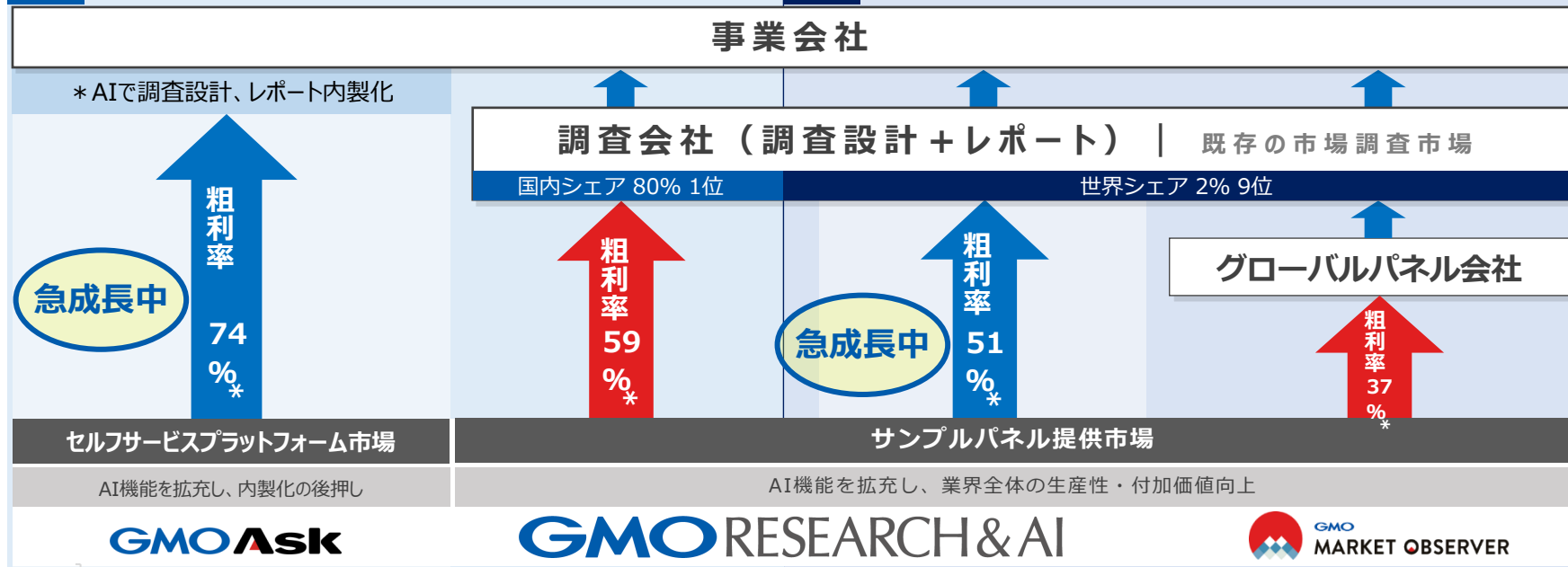


出所) ESOMAR, Global Market Research 2024, JMRA第49回経営業務実態調査, 当社有価証券報告書

# 事業概況 | 粗利率の高い取引に注力

\*2023年 通期平均粗利率：パネル原価のみ勘案（人件費除く）

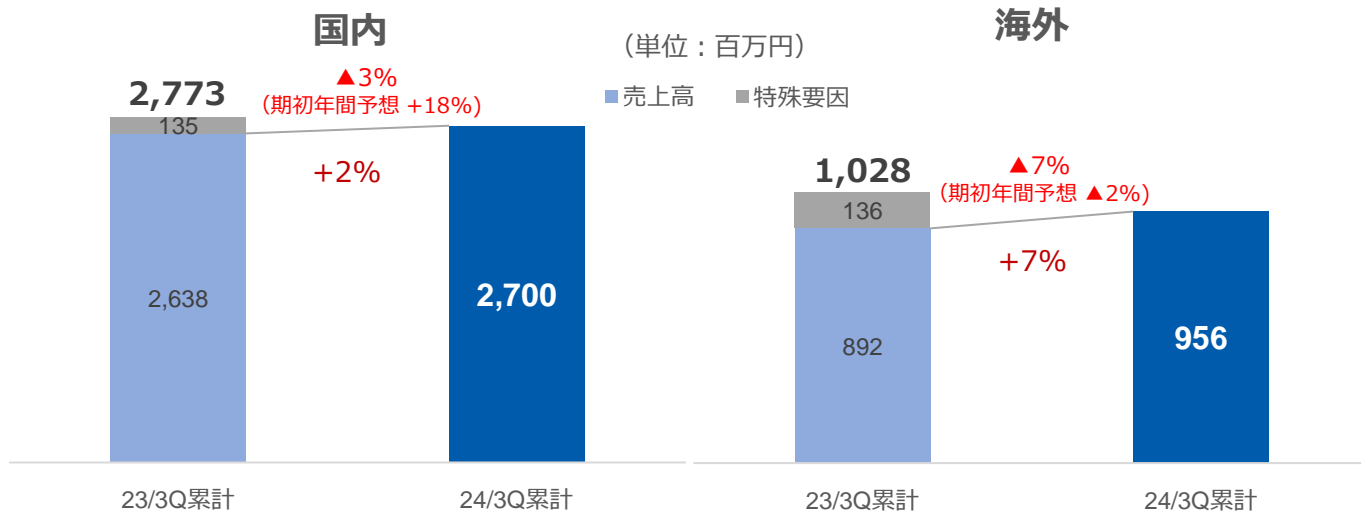
<b>国内</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ サンプルパネル提供市場ではシェア率1位。</li> <li>✓ 成長著しいセルフサービスプラットフォーム市場で急成長中。</li> </ul>	<b>海外</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 特にアジアのサンプルパネル提供市場にフォーカスし、調査会社向け販売を拡大することで粗利率を改善中。</li> </ul>
-----------	--	-----------	---



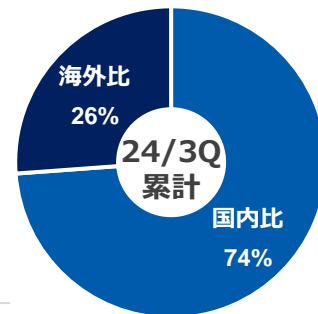
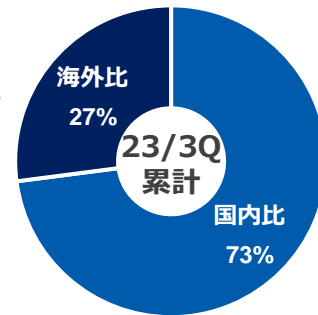
出所) ESOMAR, Evolution of the Data Analytics and Insights Industry a forecast into 2024, Global Market Research 2024, JMRA第49回経営業務実態調査, 当社有価証券報告書

# 事業概況 | 国内・海外売上高 3Q累計

- 国内は期初年間予想より弱く前年比▲3%。2Qまでの業界全体のトレンド変更・特殊要因による影響が約135百万円。その分を除けば前年比+2%。
- 海外は、前年比▲7%。2Qまでの業界全体のトレンド変更・特殊要因による影響が約136百万円。その分を除けば前年比+7%。

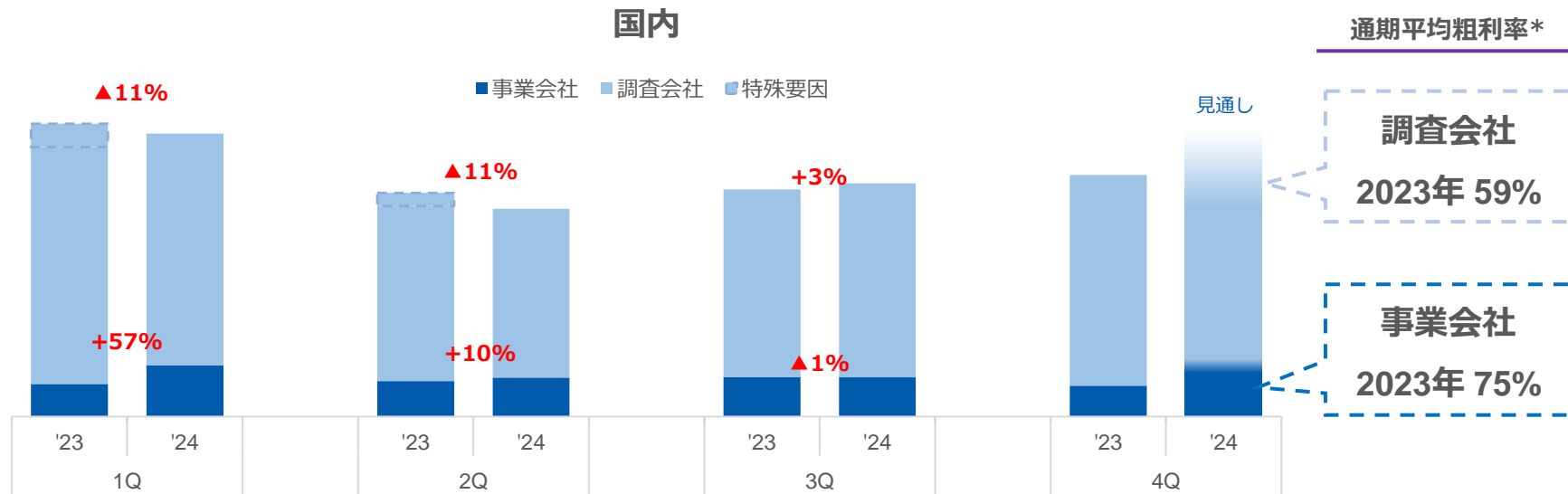


売上構成比



# 事業概況 | 国内販売先別 通期見通し

- ✓ 粗利率の高い事業会社向け売上：3Q単独成長率▲1%は、ドメイン変更によるHPへのオーガニック流入が減少したことによる、有効リード数低下の影響（次ページ参照）。有効リード数復調の兆しから4Q売上は期初予想以上に回復の見通し。
- ✓ 調査会社向け売上：対前年度比で成長率+3%と好転。4Qも継続見通し。



\*パネル原価のみ勘案（人件費除く）

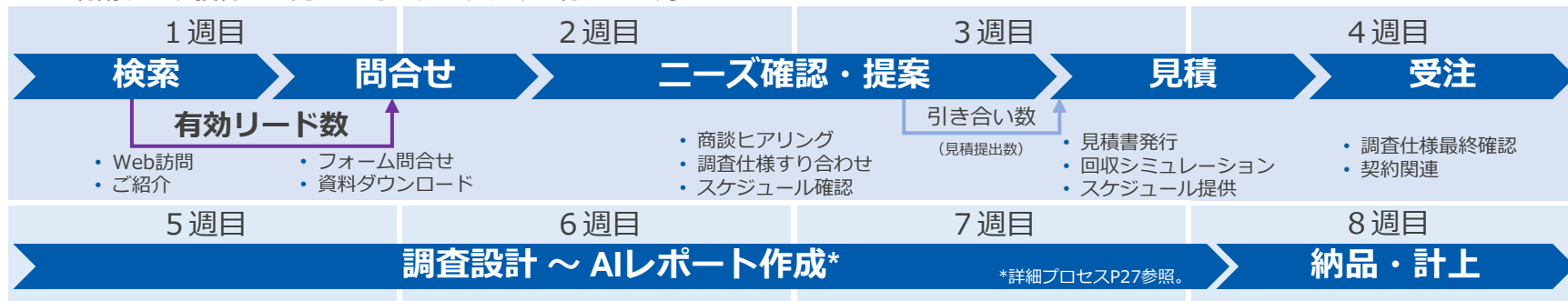
# 事業概況 | 国内事業会社向け状況

- ✓ 有効リード数が5月・6月に前年比で減少した影響で、3Q売上が前年比▲1%。(※1)
- ✓ 3Qは有効リード数が増加したため、4Qの売上は回復。成長率が期初予想以上の見通し。

(※1)

- ✓ 2Q引き合い(見積提出)は前年比+60%だったが、有効リード数低下の影響もあり、引き合いの有効性が低下。
- ✓ その結果、案件本数は前年比+20%程度となり、単価は前年比▲20%。
- ✓ 3Qは有効リード数増加により、引き合いの有効性が向上し、案件・単価が上昇。

➤ 有効リード獲得から売上までのリードタイム約2~3か月\*。



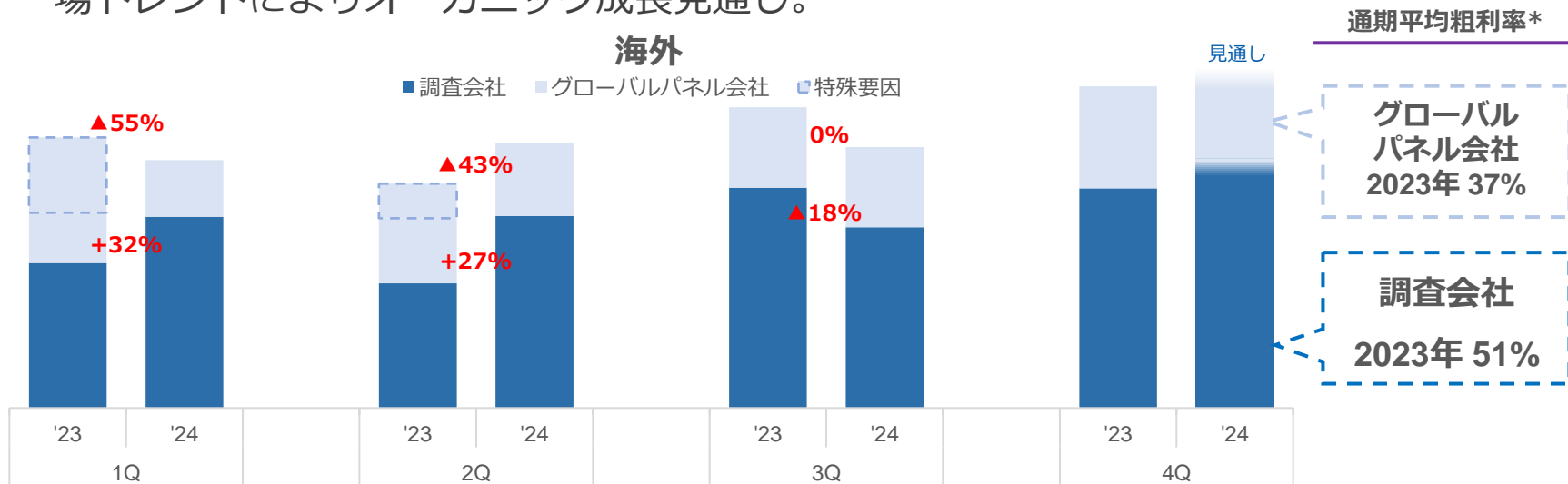
国内事業会社向け 有効リード数推移



\*国内事業会社向け販売 | 受注プロセスの一例。案件によって変動あり。

# 事業概況 | 海外販売先別 通期見通し

- ✓ 粗利率の高い調査会社向け売上：粗利率改善を目的とした定性調査案件絞り込み、及び4Qへの期ズレ影響（27百万円）により3Q単独▲18%。4Qは成長率▲1桁台まで回復見通し。
- ✓ グローバルパネル会社向け売上：特殊要因影響による下げ止まりを確認。4Q以降は市場トレンドによりオーガニック成長見通し。



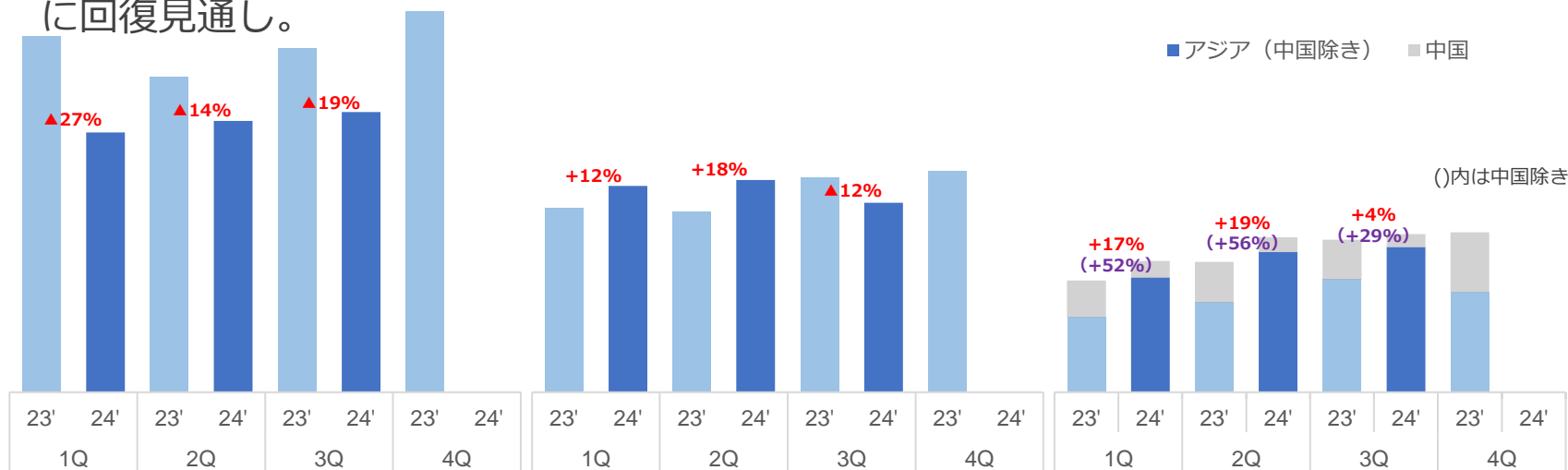
\*パネル原価のみ勘案（人件費除く）

# 事業概況 | 海外エリア別売上高

✓ 米国：粗利率改善を目的とした定性調査案件絞り込みと期ズレ（19百万円）影響で3Q単独▲19%。4Qは前年同期比成長率▲1桁台に回復見通し。

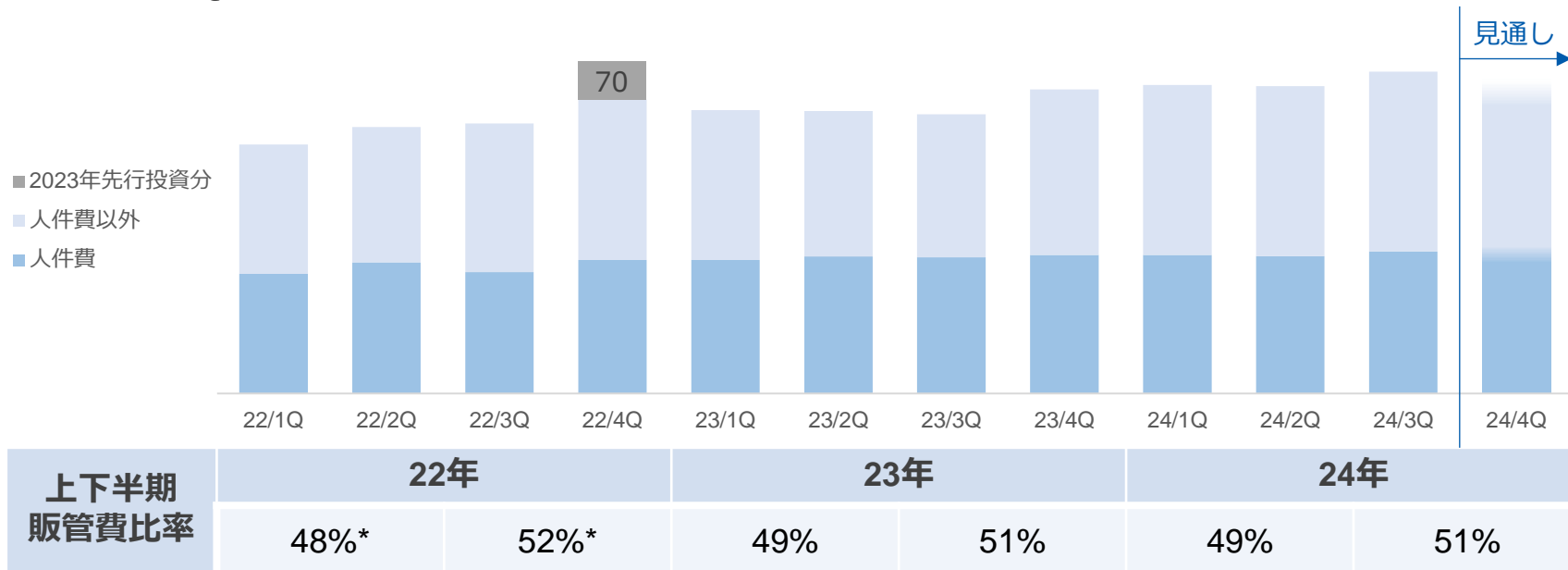
✓ 欧州：粗利率改善を目的とした定性調査案件絞り込みと期ズレ（8百万円）影響により3Q単独▲12%。4Qは前年程度まで回復見通し。

✓ アジア：中国特定案件の減少により成長率+4%と鈍化。中国以外では3Qは+29%の成長率で、4Qも継続成長の見通し。



# 事業概況 | 販管費推移 通期見通し

- ✓ 3Qに、国内事業会社向けの成長のため、広告宣伝費（5百万円）を増加。広告宣伝費が受注との効果関連が検証されたために追加投入。
- ✓ 2024年4Qは特筆すべき増加要因なしの見通し。



\*2022年4Q 2023年への先行投資分除き

# 事業概況 | パネルネットワーク

- ✓ アジア16の国と地域で**6,744万人\***超 (+332万人 : 2Q比) の業界最大規模のパネルネットワークを構築。
- ✓ **451\*社** (+21社 : 2Q比) (媒体) のロイヤルティ会員保有企業 (媒体) とAPI接続。

**CASHMART**  
by GMO <https://cashmart.jp/>

**infoQ**  
by GMO <https://infoq.jp/>

**infoQ**  
by GMO <https://infoq.vn/>

**Z.com**  
Research <https://knowledgeprovider.z.com/>

**Z.com**  
Research GMO-Z.com ACE Co., Ltd.  
<https://mm.zresearch.asia/>

**Z.com**  
Research Net Design  
<https://research.z.com/th/>

**Z.com**  
Research <https://sg.research.z.com/>



日本

**32,651,000**



中国大陸

**21,673,000**



ベトナム

**1,107,000**



韓国

**1,298,000**



インド

**828,000**



香港

**66,000**



ミャンマー

**26,000**



台湾

**1,119,000**



タイ

**933,000**



インドネシア

**4,394,000**



シンガポール

**64,000**



アラブ首長連邦

**300**



フィリピン

**1,804,000**



オーストラリア

**134,000**



マレーシア

**1,338,000**



ニュージーランド

**10,000**

アジア **16** の国と地域

**6,744** 万人\*

(\*2024年10月現在)

# 事業概況 | 消費者側プラットフォーム : ASIA Cloud Panel

消費者・回答者 ←

ロイヤルティー会員保有企業（媒体）  
（日本）

Vポイントモール 初めての方へ POINT

TOPページ > アンケートで貯める

**アンケートで貯める** かんたんアンケートで VポイントGET

アンケートに回答  
アンケートは随時配信。  
毎日チェック！

VポイントをGET!  
Vポイントは自動で付与。  
交換手続き不要で便利♪

ここから先はGMOリサーチ&AI株式会社が運営するアンケートサイトへ移動します。  
「[回答者の皆様へ](#)」の内容をよくお読みいただき、ご同意の上ご利用ください。  
ご利用いただいた場合には、ご同意いただいたものとして取り扱わせていただきます。

[回答者の皆様へ](#)  
※必ずお読みください

アンケートを利用する

出典 : Vポイントモール  
[https://l-mail.isite.jp/research/?scid=enquete\\_top](https://l-mail.isite.jp/research/?scid=enquete_top)

ASIA  
↑  
CLOUD PANEL

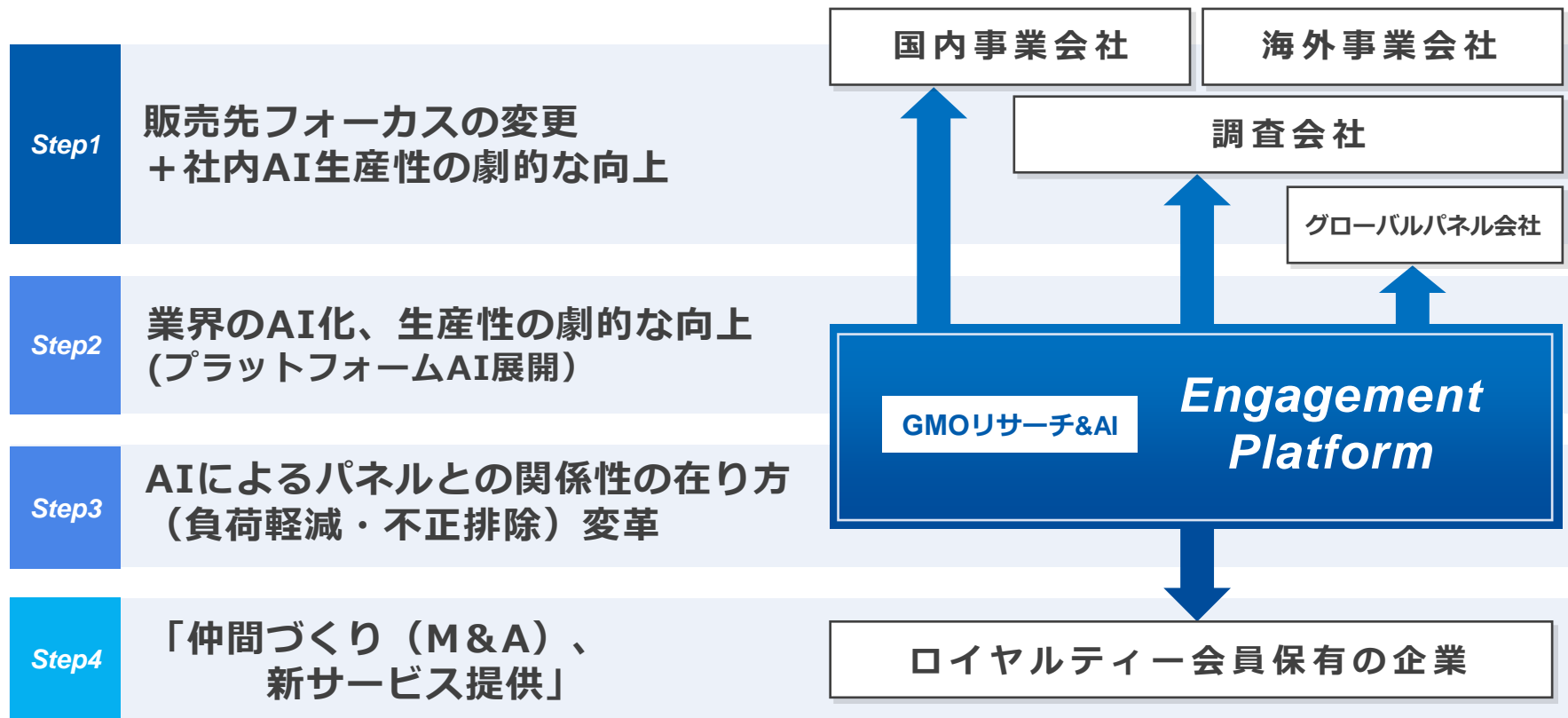
451\*社（媒体）以上へ  
アンケート配信

\*2024年10月現在

## ■ポイント

- ✓ API経由で451\*社（媒体）のロイヤル  
ティー会員保有の企業と提携し、それぞれ  
の個人データベースを管理。
- ✓ 消費者はロイヤルティー会員保有の企業を  
通じてアンケートに回答することでポイン  
トを獲得。

# 事業概況 | 今後の成長ステップ - 概略



# 事業概況 | 今後の成長ステップ - 進捗状況



# 事業概況 | 今後の成長ステップ - 時間軸



# GMOリサーチ&AIに今！注目してほしい理由

---

# GMOリサーチ&AIに今！注目してほしい理由

## 1. 高成長市場に注力

世界市場成長性14.4%！\*1  
国内市場成長性25.5%！\*1

日本シェア1位！\*3

## 2. ユニークなビジネスモデル

従来型の確立された市場調査会社とは異なる  
プラットフォームを主軸としたビジネスモデル

★AIによる将来的展開可能性★

## 3. 上半期 特殊要因終了、 再び成長トレンドへ

対前年度比：上半期特殊要因影響の下げ止まりを確認

2024年4Q・2025年にかけて  
期初予想以上の売上成長率見通し\*4

## 4. 安定高配当

配当性向 50%以上目標 \*2  
(2023年61%)

予想配当利回り 4.68% \*5  
※11月11日時点

\*1：セルフサービスプラットフォーム市場

\*2：ESOMAR, *Evolution of the Data, Analytics and Insights Industry, A forecast into 2024*, JMRA第48回経営業務実態調査, 当社有価証券報告書

\*3：サンプルパネル提供市場

\*4：国内事業会社向けセグメント

\*5：Yahoo!ファイナンス 2024年11月11日 <https://finance.yahoo.co.jp/quote/3695.T>

# 想いを、世界に

Engaging people around the world

**GMO** RESEARCH & AI

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。

# Appendix

---

- 連結損益計算書・連結貸借対照表
- 直近の主なリリース
- 国内インサイト市場 各セグメント概要
- ビジネスモデル
- 業界トップクラスの収益力
- 各拠点人員数推移

# Appendix | 2024年3Q 連結損益計算書

(単位：百万円)	2023年 1-9月	2024年 1-9月	前年同期比
売上高	3,801	3,657	96.2%
売上原価	1,953	1,869	95.7%
売上総利益	1,848	1,787	96.7%
(売上総利益率)	(48.6%)	(48.9%)	(+0.3pt)
販売費及び一般管理費	1,545	1,714	110.9%
(販管費率)	(40.7%)	(46.9%)	(+6.2pt)
営業利益	303	73	24.3%
(営業利益率)	(8.0%)	(2.0%)	(▲6.0pt)
経常利益	311	67	21.7%
当期純利益	217	58	26.9%

# Appendix | 2024年3Q 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2023年12月末	2024年9月末	前期末比
流動資産	2,485	2,100	84.5%
現金及び現金同等物	1,334	1,163	87.2%
固定資産	508	646	119.8%
資産合計	2,993	2,746	91.8%
流動負債	931	805	86.4%
固定負債	14	14	100.8%
負債合計	946	819	86.6%
純資産	2,047	1,927	94.1%
(自己資本比率)	(68.4%)	(70.2%)	(▲1.8pt)

# Appendix | 直近の主なリリース

日付	タイトル (URL)
2024/6/26	<a href="#">「No.1」の検証(調査)を実施する「No.1検証リサーチ」提供開始 ～一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会の審査・認定を実施し適正性を担保～   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI (gmo-research.ai)</a>
2024/7/12	<a href="#">GMOリサーチ &amp; AI、ロックトーンと戦略DX領域で業務提携 ～戦略立案から仮説検証までワンストップでご提供～   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI (gmo-research.ai)</a>
2024/7/19	<a href="#">ESCPエグゼクティブMBAの学生とGMOリサーチ &amp; AIが共同でニューロインクルーシブ・リクルーティング研究を実施 ～AI技術活用で多様性を尊重する採用プロセス実現に向けて～   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI (gmo-research.ai)</a>
2024/7/22	<a href="#">40代以上は毎日自宅飲みする人が最多！ ～飲酒に関する自主調査を発表～   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI (gmo-research.ai)</a>
2024/7/30	<a href="#">アンケートサイト「infoQ」、20周年記念キャンペーン開催！ 最大1万円分のポイントが当たる ～アンケートサイトの新たなステージへ～   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI (gmo-research.ai)</a>
2024/8/6	<a href="#">GMOリサーチ &amp; AIとETE HOLDINGSが AI技術（デジタルツイン技術）活用のための資本・業務提携 ～データとAI技術の融合による革新的なマーケティングサービスの開発に向けて～   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI (gmo-research.ai)</a>
2024/8/7	<a href="#">GMOリサーチ &amp; AIがインドでアンケートサイト「Z.com Research India」のモバイルアプリをリリース   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI (gmo-research.ai)</a>
2024/8/8	<a href="#">企業のマーケティング・成長戦略を支援する「ブランド調査パッケージ」を提供開始 ～ブランド力を数値化し、効果的な戦略づくりに活用～   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI (gmo-research.ai)</a>
2024/8/28	<a href="#">約20%が屋内でも顔に日焼け止めを使用 ～日焼け止めに関する自主調査を実施～   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI (gmo-research.ai)</a>
2024/9/19	<a href="#">生成AIの業務利用者の43.6%が「業務効率が大幅に向上した」と回答 ～認知度に対して利用率が依然低い状況、課題はスキル不足と技術・予算の制約～   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI (gmo-research.ai)</a>
2024/10/7	<a href="#">GMOリサーチ &amp; AI、Spreadyと新規事業開発領域で業務提携 ～ユーザーリサーチからユーザーインタビューまでワンストップでご提供～   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI (gmo-research.ai)</a>
2024/10/17	<a href="#">GMOリサーチ &amp; AI、イオレと採用DX領域で業務提携 ～全国3,000万人以上の学生・社会人の求職データをもとに、効果的な求人広告・採用サイト制作を支援～   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI</a>
2024/10/24	<a href="#">リサーチオペレーション業務にAIを活用 ～年間23,820時間の業務改善で生産性向上へ～   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI</a>
2024/10/31	<a href="#">シンガポール国内の若い世代は「週に1回以上」日本食を楽しんでいる！ ～シンガポール市場×日本食の自主調査～   プレスルーム   GMOリサーチ &amp; AI</a>

# Appendix | 国内インサイト市場 各セグメント概要

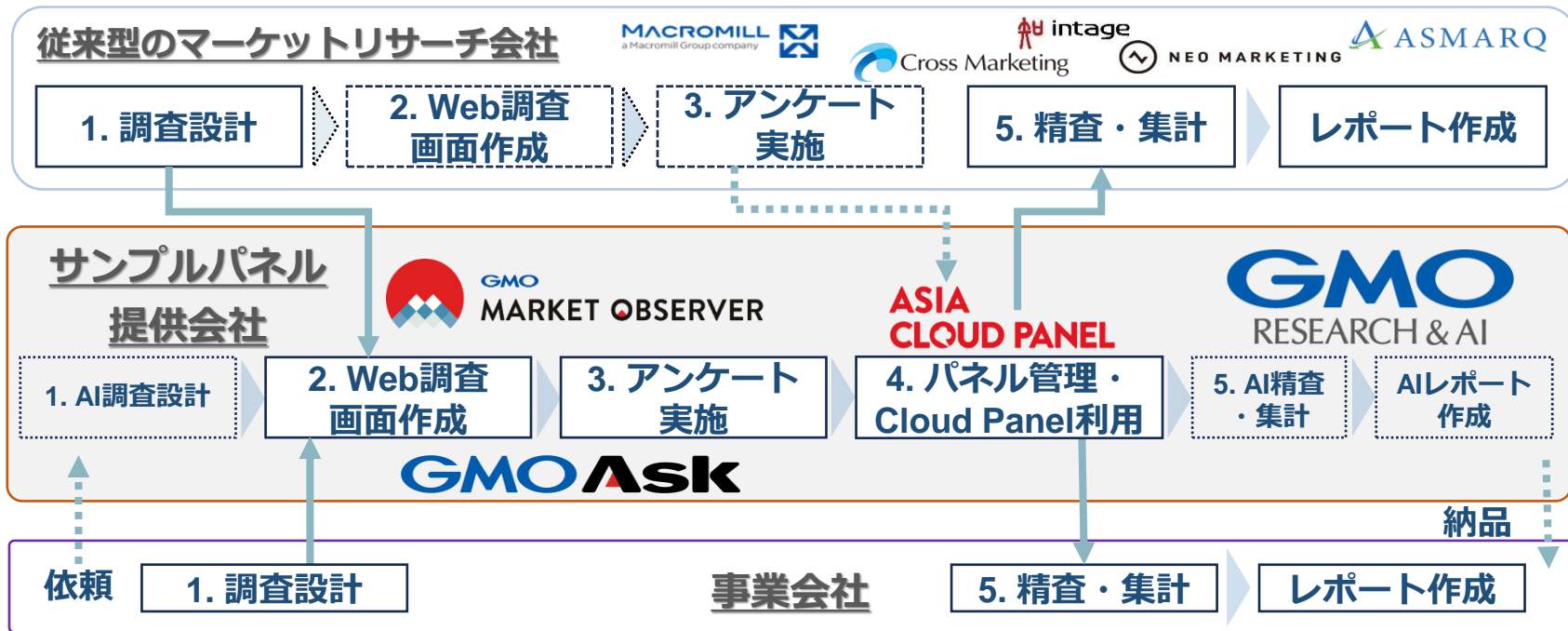
国内市場合計  
1,924億円

カテゴリー	セグメント	億円	セグメントの解説	代表的な企業例
テクノロジー 主導調査	企業内フィードバックシステム	59.7	調査データを含む社内外の多様なDBを一元化し、継続的・自動的に収集更新したデータをプラットフォームツールで提供	Medallia, Verint, Forsta 等
	セルフサービスプラットフォーム	37.5	自社開発のDIY調査集計システムや、AIを活用したデータ分析ツールを提供。またはクラウド環境を通じて調査/集計システムを貸し出し。	Qualtrics, Momentum, Toluna 等
	ソーシャルリスニング・コミュニティ	2.0	SNSやオンライン上のテキスト、画像・動画データを収集・分析し、その分析結果を基に広報PR戦略等を支援。顧客コミュニティ運営ツールの提供も。	Cision, Splinklr, ホットリンク 等
	デジタルデータ分析	15.8	Webやオンライン上のビッグデータを収集し、外部データや顧客DB等を合わせて分析（ただし、CRMサービス等を除き、分析部門の売上に限る）。	Adobe, Salesforce, Oracle, ALBERT, プレインバッド 等
レポートニング	経営コンサルティング・シンクタンク	10.9	調査やデータ分析からさらに進んで、顧客企業の経営戦略変革提案までを手がける。日本ではシンクタンクによる調査研究/コンサル事業を含む。	McKinsey, BCG, Deloitte, Accenture, PwC, 三菱総研 等
	業界特化型調査レポート	74.2	特定の業界（IT、自動車等）に専門特化し、デスクリサーチやヒアリング調査等を通じて情報を収集・分析し、汎用レポート/カスタムレポート/DB等を提供。	矢野経済、富士経済、JD Power, Gartner, IDC 等
確立された市場調査領域	サンプルパネル提供	52.2	自社でアクセスパネル（調査モニター組織）を構築し、（国内外問わず）外販する。国際的な連携・協力関係が深化している。	Dynata, Cint, Prodege, GMOリサーチ&AI 等
	（従来型の）確立された市場調査	1,693	伝統的な定量・定性調査、従来からあるデータ分析業務、集計業務等。	（従来からある市場調査会社、JMRAの正会員社 等）

出典：JMRA第49回経営業務実態調査

# Appendix | ビジネスモデル

業界最大規模のパネルネットワーク活用により、高い収益力が実現。さらに、調査会社向けに培ったパネル提供システムを事業会社への提供で、さらなるパネル活用と販売効率化が実現。



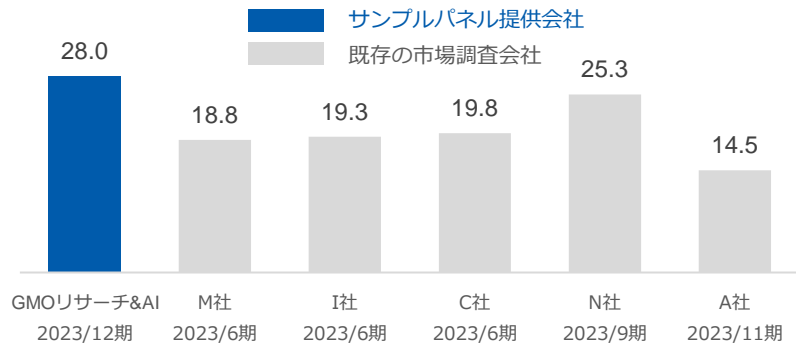
# Appendix | 業界トップクラスの収益力

当社が属するサンプルパネル提供会社は既存の市場調査会社(\*1)とは業態が異なり、収益力（一人あたり売上高）が高く、スケールメリットが出やすい業態。

## 一人あたり売上高 (\*2)(\*3)

(単位：百万円)

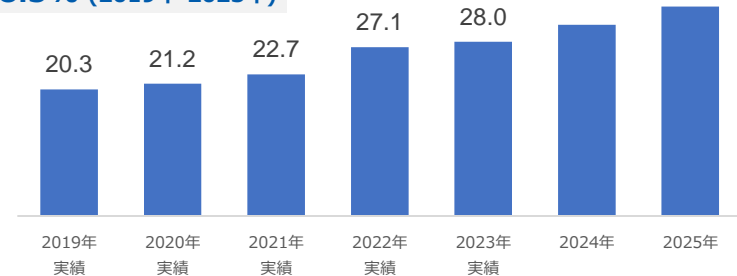
### 他社比較



(単位：百万円)

### 当社実績と今後の方針

平均成長率(CAGR)  
8.3% (2019年-2023年)



(\*1) 日本国内で上場するマーケティングリサーチサービスの提供会社  
M社：株式会社マクロミル  
I社：株式会社インテージホールディングス  
C社：株式会社クロス・マーケティンググループ  
N社：株式会社ネオマーケティング  
A社：株式会社アスマーク

(\*2) 比較対象会社の財務数値につきましては、各社が公表している有価証券報告書・四半期報告書に記載の数値によっております。

(\*3) 従業員数を使用して計算しております。

# Appendix | 各拠点人員数推移

(単位：人)

## 各拠点における正社員数の推移

	東京	下関その他	シンガポール	マレーシア	インド	中国	米国	合計
拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>本社機能</li> <li>国内欧米営業、PJ管理</li> <li>国内パネル管理</li> <li>システム開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内PJ管理、国内営業・営業補助</li> <li>国内パネル管理</li> <li>システム開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東南アジア営業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローカル営業</li> <li>アジアパネル管理、開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧米/東南アジアPJ管理、営業補助</li> <li>ローカル営業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローカル営業</li> <li>PJ管理</li> <li>中国パネル管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローカル営業</li> <li>PJ管理</li> </ul>	
2019年7月1日時点	94	18	3	5	14	8	-	142
2020年1月1日時点	94	22	3	6	14	8	-	147
2020年7月1日時点	97	24	3	6	14	5	-	149
2021年1月1日時点	102	27	3	6	15	4	-	157
2021年7月1日時点	106	26	3	9	16	6	-	166
2022年1月1日時点	108	28	3	9	17	6	-	171
2022年7月1日時点	112	29	2	12	16	7	3	181
2023年1月1日時点	112	33	2	14	20	7	3	191
2023年7月1日時点	109	37	3	16	23	7	3	198
2024年1月1日時点	103	33	3	15	21	5	3	183
2024年7月1日時点	107	34	3	16	21	4	5	190
2025年1月1日見込み	102	31	3	14	24	4	7	185
半期人員増減数	-5	-3	±0	-2	+3	±0	+2	-5
補足	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社生産性向上</li> <li>海外赴任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オペレーション生産性向上</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>システム開発強化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>営業強化</li> </ul>	